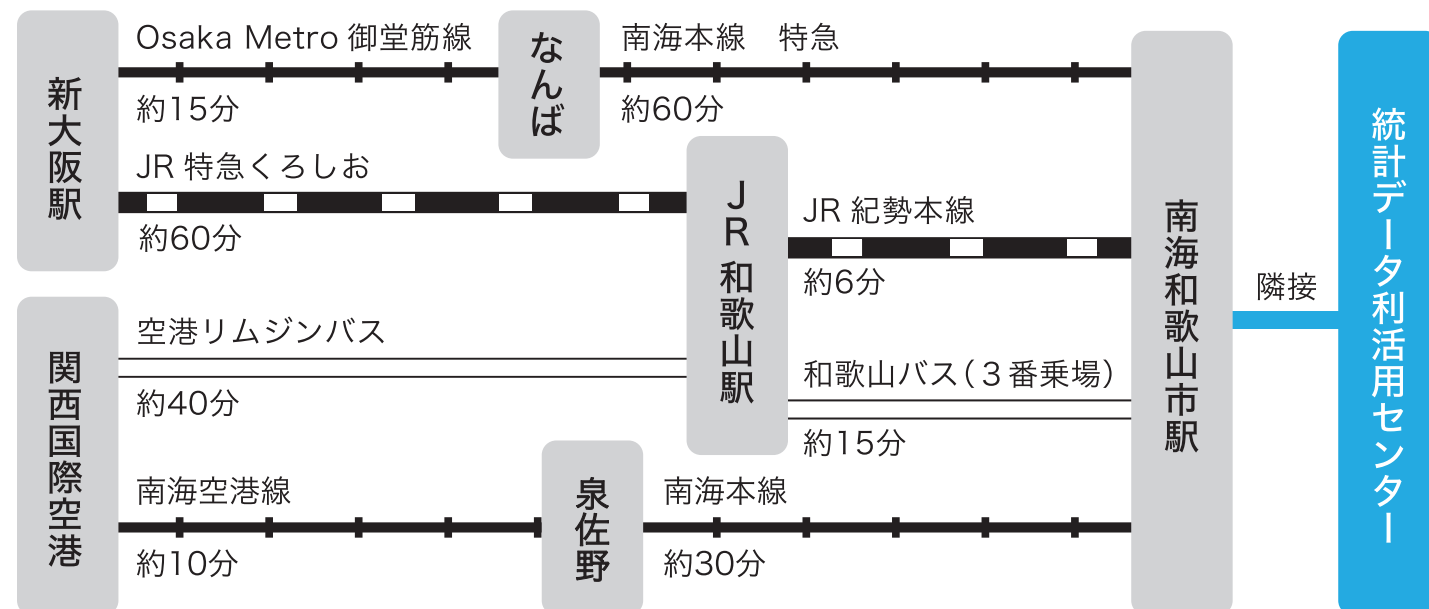


所在地・アクセス



統計データ活用センター 周辺地図

南海和歌山市駅に隣接し、
新大阪駅からも、関西国際空港からも
1時間半以内の便利なアクセスです。



地方公共団体の皆様へ 利活用相談のお知らせ

統計データ活用センターでは…

皆様の統計データ
利活用を支援する
取組を始めます！

- 市町村の課題をデータで可視化したい
- 政策の目標設定に統計データを活用したい
- 施策の経済効果を算出したい
- 組織でEBPMを推進したい など

下記の連絡先へ
メールや電話で
気軽にご相談ください

統計データ活用センター

〒640-8203

和歌山県和歌山市東蔵前丁 3-17 南海和歌山市駅ビル 5 階

TEL 073-425-0205 (代表) E-mail data-rikatsuyou@soumu.go.jp

ホームページ <https://www.stat.go.jp/rikatsuyou/index.html>



統計データ 利活用センター

— 先進的なデータ利活用の推進拠点 —

統計データ利活用センターについて

先進的なデータ利活用の推進拠点

データサイエンス・EBPMに資する統計データ利活用推進

地方公共団体における統計データを活用した課題解決の支援、データによる課題解決事例の研究等、統計データの利活用を推進します。

※EBPM (Evidence-Based Policy Making) とは、証拠に基づく政策立案のこと

- 地方公共団体における統計データ利活用推進事業の支援
- データ利活用に係る地方公共団体表彰
- 情報支援の充実等の利活用支援 など



利活用に関する検討会



全国の利活用担当者による会議



Data StaRt ウェブサイト
スマートフォンからもアクセスできます。
<https://www.stat.go.jp/dstart/>

統計データ利活用に関する人材育成

データサイエンススキルの向上支援のため、公務員を対象とした研修会やビジネスパーソンを対象とした講習会等を実施します。

- 地方公共団体における研修会やセミナー等への講師派遣
- 地方公共団体との連携によるビジネスパーソン向け統計データ利用イベント
- 統計を活用したキッズ向けイベント など



統計データ利活用研修会



子ども統計プログラミング in 和歌山

統計データ利活用センター

先進的なデータ利活用の推進拠点

統計マイクロデータの提供で新たな発見への糸口を

情報セキュリティを確保しつつ高度なデータ解析を可能とする環境(オンサイト施設)を構築し、統計マイクロデータを提供することで、地域の課題解決や発展を促すための環境を整備します。

- ICTを活用し情報セキュリティを確保しつつ高度なデータ解析を可能とする環境の構築・運用
- オンサイト施設の全国展開
- 統計マイクロデータ利用ポータルサイトの運用 など



オンサイト施設



運用管理施設

和歌山から日本全国へ。地方創生に貢献する取組み

和歌山から全国に、成功事例を展開。
先進的データ利活用で日本全国を活性化！

データ利活用の成功事例を全国に展開していくことで、日本の統計データ利活用が活発化。日本の社会や経済の発展の可能性へつながります。

期待される効果

- ◆ 統計データの活用で行政課題を解決
- ◆ オンサイト普及で研究活動が活発化
- ◆ データサイエンススキルの裾野拡大



統計マイクロデータの利活用について

統計マイクロデータが持つ新しい可能性

多様・高度な研究分析が可能になるから
新たな社会経済価値を創出・発信できる！

統計調査などで集められたマイクロデータ(集計される前のデータ)を用いることで、多様かつ高度な研究分析が実現できます。マイクロデータの活用により、社会・経済の発展につながる新たな発見が生まれることが期待されています。



新たな仕組み、オンサイト施設

高い情報セキュリティを確保しているから
マイクロデータの安心安全な利活用が可能！

統計マイクロデータの利活用にあたっては、高い情報セキュリティの確保が必要です。入退管理やデータ管理されたセキュアな専用室のあるオンサイト施設だからこそマイクロデータを安全に利用することができます。

マイクロデータ利用には、高いセキュリティが必須条件



入退管理する専用室や、監視カメラなどで一定のセキュリティを確保しています。



PC・USB メモリ等、外部記憶装置は持ち込み禁止。データの持ち出しは不可能。

オンサイト施設でできること

施設内に設置されたPCを用いて、申出した統計マイクロデータを使った研究分析を自由に行うことができます。



施設内のPCでは、研究者が自分で用意した参照するデータを利用して、申出した統計マイクロデータとあわせた研究分析を行うこともできます。



研究分析した成果については、セキュリティ保護の観点等から、所定の審査を受けた上で、提供を受けることが可能です。



※統計マイクロデータは、統計法に基づき利用を認められた研究などにおいてのみ活用可能なデータです



マイクロデータ利用ポータルサイト
<https://www.e-stat.go.jp/microdata/>